

<主な論文>

脂肪肝関連

Computed tomography in the diagnosis of fatty liver: Total lipid content and computed tomography number. Tohoku J exp Med, 136:337-342, 1982

(生化学的に定量された肝の中性脂肪量とCTNが良好に相関することを示した)

Ultrasonographical diagnosis of fatty liver : Significance of the liver-kidney contrast.

Tohoku J exp Med, 139:43-50, 1983. (肝腎コントラストを世界に先駆けて提唱した)

日本の都市病院の生検例における非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) の頻度と血清フェリチン測定の有用性について. 日消誌、103:515-522、2006

Differential tissue harmonic imaging 超音波診断装置による脂肪肝の所見—CT所見との対比による診断基準の再評価—. 日超医, 37:587-592, 2010.

(肝腎コントラストの有用性を改めて確認した)

健診受診者を対象とした ALT (Alanine aminotransferase) の正常値の推定

—超音波診断による肝脂肪化例の除外の影響—. 人間ドック、25:837-843, 2011.

(ALTの正常値は ≤ 30 IU/Lであることを示した)

健診例における Nonalcoholic fatty liver disease と血清 γ -glutamyltransferase の関係について. 人間ドック、27:837-842、2013

エンドトキシン関連

急性閉塞性化膿性胆管炎におけるエンドトキシン血症の推移—エンドトキシン特異的定量法を用いての検討—. 薬理と治療、26:161-166, 1998.

Endotoxemia in liver diseases: Detection by a quantitative assay using chromogenic substrate with perchloric acid pretreatment. Tohoku J exp Med, 147:411-419, 1985.

(学位論文)

Nonseptic endotoxemia in cirrhotic patients. Gastroenterologia Japonica, 24:262-269, 1989.

(肝硬変において検出される内因性エンドトキシン血症がエンドトキシン特異法では検出されないことを示した。BGLA (β glucan like activity) は生体内反応物質?)

難治性腹水の治療

難治性腹水に対する peritoneovenous shunt 試行後の凝固障害を軽減する工夫について
一大量のヘパリン加生理食塩水による腹腔内洗浄一. 日門充会誌、9:141-148,2003
(一度は危険すぎると否定されたデンバーシャントを安全なものにした！)

その他

胆嚢腺筋腫症にみられる Comet-tail artifact の成因としての壁内結石：コレステロール結
晶石. 日超医、24:1761-1765、1997 (コメットサインの原因を明らかにした！)

肝内胆汁うっ滞に対する G-I 療法. 薬理と治療、23:109-116,1995
(肝不全の治療法である G-I 療法が肝内胆汁うっ滞にも有効であることを示した)

成人型シトルリン血症に対するクエン酸療法. 肝臓、21:1682-1689、1980
(思春期以後に発症する成人型シトルリン血症の概念の確立に貢献した症例)

上腸間膜静脈よりウロキナーゼを投与して救命できたプロテインS欠損症による
門脈・上腸間膜静脈血栓症の1例. 日消誌、96:1159-1164、1999